

—平成30年 睦月（1月）のことば—



### 『犬も歩けば棒に当たる』

今年<sup>いぬどし</sup>は成年<sup>じょうもん</sup>。縄文時代から人間に寄り添いながら私<sup>ま</sup>たちを護<sup>まも</sup>り、癒<sup>い</sup>してくれている犬の年です。上の言葉は江戸かるたのいろはの「い」のことわざで、誰もが知っているものですが、江戸時代のことですから野良犬も多く、棒で追い回されもしたのでしょう。元々は「ウロウロ出歩けば災難に出くわすぞ」の警句<sup>けいご</sup>であったようです。つまり「犬も歩けば棒に当たる、いわんや人間をや」で、縄張り意識こそあるものの、純粋な犬でさえもこの通りであるから、詮索<sup>せんさく</sup>・排除<sup>はいじょ</sup>・利権<sup>りけん</sup>まみれの人間にとっての渡る世間は鬼ばかりというのでしょうか。だからでしょうか、近頃は核じゃミサイルじゃ、目には目をじゃと吠える輩<sup>やから</sup>が増えてきました。ひょっとしたらすでに狂犬病<sup>きょうけんびょう</sup>、いや狂人病<sup>かか</sup>に罹<sup>かか</sup>っているのかも知れません。そもそも古くからのことわざは「渡る世間に鬼はなし」なのです。厄介<sup>やっかい</sup>で多様な心を持ちながらも上手にコミュニケーションをとれる智慧<sup>ちえ</sup>と慈悲<sup>じひ</sup>を持ち合わせているはずなのです。新年早々お粗末な顔ぶれを思い出してしまいましたので、お口直しにイギリスのことわざをご紹介します。

子どもが生まれたら犬を飼いなさい…

子どもが赤ん坊の時、子どもの良き守り手となるでしょう。

子どもが幼少期の頃、子どもの良き遊び相手となるでしょう。

子どもが少年期の頃、良き理解者となるでしょう。

そして子供が青年になった時、自らの死をもって子どもに命の尊さを教えるでしょう。

成年の今年、ワンちゃんたちに恥<sup>は</sup>ずかしくない生き方をしなくてはなりません。

しょうこうじ 正光寺 みょうけん 妙見さまの星祭り

北極星の化身で、私たちの生まれ星を守って下さる妙見さまは、古来より人々の苦難を救い、この地球を守る菩薩さまとして多くの信仰を集めてきました。正光寺では毎年善男善女がこの一番寒い季節にお参りをして心身を浄め、自己を振り返り、願いや誓いを立ててきました。そんな私たちを見守って応援して下さいるのが『妙見菩薩さま』であり、不安や迷いの雲を祓って下さるのが『大般若経』の功德です。餅投げや豆まきも行いますので、大人も子供もお誘い合わせて是非ご参詣下さい。

- \* 大祭日 . . . 1月28日(日)
- \* 大般若祈祷 . . . 午前10:30より
- \* 餅・豆まき . . . ご祈祷終了後



おモチも  
た〜くさん  
まくんだって



正光寺：浜松市東区豊町749  
TEL 434-0800 / FAX 443-7410